

平成26年 4 月 23 日

◎川井委員長 ただいまから、危機管理文化厚生委員会を開会いたします。

(10時01分開会)

◎川井委員長 本日の委員会は、昨日に引き続き「平成26年度業務概要について」であります。

《公営企業局》

◎川井委員長 それでは、日程に従い、公営企業局の業務概要を聴取いたします。業務概要の説明に先立ち、幹部職員の紹介をお願いします。

(幹部職員紹介)

◎川井委員長 それでは、公営企業局長から総括説明を受けます。なお、局長に対する質疑は、各課長に対する質疑とあわせて行いたいと思いますので、御了承願います。

(総括説明)

◎川井委員長 続いて、各課長の説明を求めます。

〈電気工水課〉

◎川井委員長 電気工水課を行います。

(執行部説明)

◎川井委員長 質疑を行います。

◎中根委員 ダムの耐震性の問題で、地元の自治体から周知をしていただくということですが、実際にこれまでの検査の結果、地元の自治体から住民の皆さんに周知されているか、声がかかっているかどうかは、確認できてますか。

◎畠中電気工水課長 昨年度の末に、この結果が正式にできましたので。まだ地元のほうにはお知らせしておりません。今後お知らせするときは、しっかり地元への周知も含めてお願いしたいと考えております。

◎中根委員 たくさんの皆さんが心配しているので、広報なり、きちんとした形で皆さんに行き届くようにお願いします。

◎岡本委員 中筋川ダムに関連して、これは局長にちょっとお聞きしたいんですけども。今年度から知事部局に移ったということで。この中筋川ダムが建設されるとき、僕は地元の市会議員してたんですけども。過大な需要予測を立てて、今回のような結果になったと思ってるんですけども。そういうような総括はきちっとされたんですか。その点をまずお聞きしたいんですが。

◎岡林公営企業局長 知事部局も含めて、この中筋川ダムの建設が過大だったかどうか、そういう正式な総括みたいなものはしておりません。ただ、我々事務方レベルの整理の仕方としては、決して過大ではなかったと。また、洪水時期に一定の洪水を抑止してきた実績もあるということは聞いております。

◎岡本委員 たしかに治水の部分では、そういう面もあるでしょうけれども。多目的ダムとして治水と利水の部分ですよね。だからこの工業用水も利水でしょ。売れなかったわけですから、その分県民が負担したわけです。前年度も言ったと思うんですけども。違う課のときに、きちっと総括をしてなければまた新たな間違いを起こすと。だから、何でこれが知事部局に移らなければならなくなったのか、総括はきちりとするべきやと。こういう需要予測の中で計画が進められていたと。それがなかったという結果がこれでしょ。局長のお考えをお聞きしたいんですが。

◎岡林公営企業局長 公営企業局としては、当然経済性というものも当然念頭に置いて、事業化をするならばしていくという考え方に立つべきだと思います。今後に生かすためにも、一定その経緯も含めてどうだったのか、その辺を整理はしておきたいと思います。

◎岡本委員 ぜひ整理するということ。ここで答弁するだけじゃいかんですよ。きちっと報告してください。最初、どういう需要予測が立てられていたのか、これらが全ていかなかったと、収益ゼロでしたでしょう、たしか。中筋川ダムは、多目的ダムでつくったわけでしょう。だから、このあたりきちんとしておかないと、絶対次も問題を起こすと思いますので。ぜひ総括文書を渡してください。それを要請しておきますけど。委員長。

◎岡林公営企業局長 はい、承知しました。

◎溝渕委員 再生可能エネルギーの中での小水力発電の建設です。きょうの委員会で相当説明があるのかなと思ってたんですが、これはどうですか。具体的にもう相当前向きに進んでるという認識は持ってるんですが。今は2,000万円の補助金のこととかを出してますが、もうちょっと具体的にどんな状態なのか、お伺いしたい。

◎右城電気工水課企画監 当課でこれは所管しておりまして、現在、小水力ということでは仮称でございますが、地蔵寺川発電所の建設計画を進めております。昨年度の9月末をもって、基本的な設計を終了しております。その後、実施設計、詳細な設計に進むかどうか、経済性等の判断をいたしまして、いわゆる詳細設計に進もうということで、この1月からその設計に入っております。コンサルに委託しておるところでございます。この詳細設計は、10月末をもって終了する予定でございますが、この成果をもって、各関係機関の許認可申請届出、照会等の事務手続を済ませていこうと考えておりまして、今年度末を予定しております。工事を平成27年度当初から計画しておりまして、平成30年度には運転を開始していこうという計画になっております。

◎溝渕委員 県としての今度の事業にかかわる体制、実際はどんな形を目指してるんですか。土佐町での計画ですが、総事業費がどれぐらいとか、収支のこと、今、中筋川の心配もしてましたが、いろんなこともありますので、問題がないような話をよく聞きますけど、その辺、実際どんな状態なのか。

◎右城電気工水課企画監 コンセプトといたしまして地域の資源、要するに水とか、落差

とか、その山地を利用して小水力発電所を建設します。それによって電気をつくり、固定価格買取制度をもとに料金をいただくような計画をしております、その料金の一部を地域に還元していこうというのが、大きなコンセプトでございます。また施設が完成しますと、毎日軽微な作業が必ずつきものになってきますので、地域でいいますと石原地区になりますけども、その集落活動センターといったところとタイアップいたしまして、そこの方に担っていただくということで、雇用も一定確保できるのではないかと。地域の活性化に向けた取り組みにもなるということが、一つの大きなコンセプトになっております。それで昨年度9月末に終了した基本設計では、仕上がってきた総事業費が、全部積み上げて正確に出してきた金額ですけども、15億4,000万円強になっております。これは固定価格買取制度の20年間の価格が、1キロワットアワー当たり29円で売れる計算になっておりますので、それで試算しますと、資金の回収が39年かかる計算に今のところなっております。もともと20年で何とか回収したいという意向がございましたけども、そこで大きな判断をしたわけですが、地域の首長に、こういった話をぜひ進めてほしいと大きな関心を持って積極的に賛同いただいております。今まで高知分水施設に非常に地域としては悪感情を持っていたところ、こういったことをやっていただくのは、非常に地域としてはありがたいことということで、土佐町長を初め、いろんな皆様の協力をいただいて、公営企業局としては、県の産業振興計画の中の大きな一つになっておりますので、これはもう進めていこうと。物部川で三つの発電所、全部で4万キロワットの水力を持っておりまして。そうした電気事業の中で培った経験とか資金力で、小さな小水力一つぐらいなら、なんとかカバーできるのではないかとという意味もありまして、何とか進めていこうということを昨年度の暮れに判断しました。知事、副知事にも説明してございます。ことしの1月から、実施設計に入ったということですが、実施設計に入ることは、もう建設がありきの世界になってきますので、それに向けて今必死で、各関係機関と調整を進めているところです。

◎溝渕委員 長期にわたる計画になりますので、企業局としても、いろんな努力は積み重ねて行ってほしいですが。先ほどの中筋川のダムの話もありましたが、企業局が本当に長期にわたっていろんな部分を持ったりした時代もあって、香南工業用水も同じですが、なかなか三菱の二棟目の約束から変化があって今日まで来て、別の企業に売る形まで出てきたわけです。長期にわたるものですので、相当県としても見定めをして行ってほしい。長い間に企業との関係で、香南工業用水も変化してきたんですが。電気が売れていい形になればいいですが、いろんな変化をしてると思いますので、相当気配りもして、前向きな取り組みで間違いのないことだとは思いますが。局長のほうで何かありましたら。

◎岡林公営企業局長 溝渕委員の御指摘、本当にそのとおりだと思います。先ほど岡本委員もおっしゃられましたけども、中筋川の工業用水にしても、香南にしても、企業誘致があつての水道なのか、先に受け皿を構えておいての誘致なのか、いろいろ大きな問題があ

って、そこがうまく筋書き通りいかなかった部分はございます。ただ、電気事業のほうは、先ほど企画監から申し上げましたが、固定価格買取制度というのがございまして。期限が決められてますけども、そこまでに手続を終えれば、20年間はきっちり約束された収入が入るシステムでございます。先ほど申したとおり、全部投資資金を回収するためには、30数年かかるということで、現在、できるだけその工事費を圧縮することに全力で取り組んでおります。ことしの秋ごろに実施設計がまとまりましたら、また改めてこの委員会に詳細な説明もして、その上で予算のお願いもしたいと思いますので、また、そのころには、より具体的な詳細な収支見通しもお示しをさせていただきたいと思います。

◎川井委員長 ほかにございませんか。ないようでございますので、電気工水課を終わります。

〈県立病院課〉

◎川井委員長 次に、県立病院課を行います。

(執行部説明)

◎川井委員長 質疑を行います。

◎桑名委員 今のあき総合病院と幡多けんみん病院の現状と課題と、そして今後どのようにその課題をクリアするのかを、それぞれ病院について御説明をお願いします。

◎伊藤県立病院課長 まず、あき総合病院のほうでございます。この4月1日にフルオープンをしまして、まずはきちっと軌道に乗せていくのが、ことしの最大の課題であると思っております。懸案でありました医師数につきまして、予定しておりました数には少し届いておりませんが、診療機能の体制は十分整えられた形になっております。ここの部分につきましては、引き続き高知大学にも要請をしながら、さらなるドクターの充実を図っていかねばならないと思っております。

一方、幡多けんみん病院につきましては、昨年度の決算では黒字化を達成いたしまして、非常に健全な経営になりつつあるかなというところでございます。やはり14、15年たってきましたので、少し施設面の老朽化も進んできましたし、医療機器なんかの更新もこれからやっていかないと。大きなところでは、電子カルテシステムの更新時期も近づいて少し経費もかかりますので、そういったところの課題を少しクリアしていくことがあるかなと思っています。

◎岡本委員 看護師の状況です。なかなか大変な状況だと思うんですけども、中途退職、若い人が途中でやめていくとか、熟年の人がもう退職前に早い段階でやめていくとか、そんな状況については、きちっと調べておられるんでしょうか。どんな状況なのか。

◎浅野次長 あき、幡多、両方合わせた形で、ちょっと把握をしておるんですけども。看護師、全国的に統計的に見ますと、大体離職率10%を切るか切らないかが一般的だと言

われております。そういう中で、県立病院は、大体例年5%か6%ということでございますので、そういった意味では勤務条件等々、いろんな条件、前提がございますけれども、全国的にはそういった状況にあるということでございます。あと新採の離職率です。全く経験のない新採の方なんですけれども、全国の看護師免許を取って就職された方の離職率は、7月の看護協会の調べでいきますと、やっぱり10%程度おるといふふうに聞いておりますけれども、特定の家庭の状況であるとか、体調が不良の方以外は、1年目の離職というのはほとんどありません。そういった意味では、比較的安定した形で看護師がいてくれますし、確保できているのではないかなど。今のところはそういうふうに把握をしております。

◎岡本委員 なかなかいい状況だということ判断できるんですけども。看護師なんかの苦情を聞き入れるようなシステムはきちっとはつくられているんですか。

◎伊藤県立病院課長 病院の中でということですか。

◎岡本委員 幡多の職場環境の問題で。

◎伊藤県立病院課長 そこはそれぞれ中で相談できる仕組みというのは必要で、できております。基本的には看護長に相談をして、また中で順番に、最終的にはその看護部長まで相談ができる体制はできております。

◎岡本委員 わかりました。

◎田村委員 地域の病院とか診療所とかとの連携です。それもだんだんいい形で固めていかないかと思うんですが、そこらあたりはどんな状況で考えておられますか。

◎伊藤県立病院課長 やはりその地域と病院との連携というのは非常に重要なところでございまして、両病院ともその急性期部分をしっかり担って、そのあとしっかり、地元のかかりつけの先生を紹介していく形で、両病院長とも、地元の医師会の役員も引き受けられまして、そこできちっとその紹介を受けて逆紹介をするという流れをつくっていております。随分逆紹介の率も、今高くなってきておるような状況がございます。

◎田村委員 そのことが非常に大事な課題ですので、ぜひともお願いします。それから、医薬分業はどんな状況です。

◎伊藤県立病院課長 今、両病院とも院外処方形をとっております。

◎田村委員 あき総合病院への研修医の受け入れです。それもぜひとも、もちろん医療センターも高知医大もありますけれども、あき総合病院もそうした体制について、積極的な取り組みをお願いしたいです。そこらあたりはどういう検討をされてますか。

◎伊藤県立病院課長 今、幡多けんみん病院のほうが臨床研修病院、基幹型の病院として、直接受け入れができるようになってます。ただ、あき総合病院のほうは今協力型となっております。基幹型の1コマを担っていくという部分ですので、ゆくゆくはあき総合病院も基幹型を目指して、きちっと研修医を受け入れる体制をこれから整えていく形を考えて

おります。

◎田村委員 努力してください。

◎川井委員長 ほかにございませんか。

(「なし」と言う者あり)

◎川井委員長 ないようでございますので、県立病院課を終わります。

以上で、公営企業局の業務概要を終わりたいと思います。

以上で、本庁業務概要の聴取は全ての日程を終了いたしました。なお、5月8日、木曜日からは、出先機関の業務概要調査が始まりますので、よろしくお願いいたします。

これで、委員会を閉会いたします。

(11時06分閉会)